

ちばなハイサイ子育てだより



さあ、いよいよ4月がスタートしました。新年度の始まりです。スーツを身にまとい、出勤する新社会人やピカピカのランドセルを背負い登校する新1年生の姿を目にすると、新生活の始まりをより一層感じます。
また昨今は第4波のコロナの影響により、自粛や時短など、限られた生活を送る日々が続いておりますが、園では朝から園児の元気な声や笑顔が見られとてもにぎやかなスタートとなりました。
さて、新年度はどんな素敵な1年になるのでしょうか。期待を胸に、今年度も引き続き皆様へ多くの子育て支援や地域情報等、皆様のお役に立てる情報を発信していきたいと思っております。今年度もどうぞよろしくお願い致します。

簡単親子製作

～ひらひらパタパタちょうちょ～



ストローと折り紙で楽しむ、手作りちょうちょ。

羽をパタパタ動かせるところがポイント♪

いい匂いのお花はどこかなあ～ちょうちょを連れてお散歩へ出かけてみたり、作った後の楽しみ方もいろいろ。

材料・使うもの

- ・ストロー
- ・はさみ
- ・折り紙
- ・セロハンテープ
- ・シールやクレヨン、ペンなど模様に使いたいもの何でもOK!

1、紙を半分に折り、輪になる部分が中心となるようにちょうちょの形を半分描いて切る。

2、切り取ったちょうちょの輪の部分を1センチ程折り、折り目をつける。

3、紙を開きシールやクレヨンなどで好きな模様をつける。

4、ストローの先に1cm程はさみで切り込みを入れる。
ちょうちょの模様を内側にして半分に折った折り紙を、ストローの切り込み部分ではさみ、セロハンテープでとめる。

5、ちょうちょを開いたらできあがり！
ストローを手に持って上下に動かしてみよう！
羽がパタパタ動くよ♪

- ・ちょうちょの模様はシールを貼ったりフィンガーペインティングにすれば乳児さんでも楽しめる。
- ・できあがったらちょうちょの歌をうたいながら羽をパタパタさせてみてもいいね♪
- ・ちょうちょの他にも、鳥など好きな形に切ってひらいてばたかさせておもしろい！

4月からの保育園・幼稚園が不安 子どもが園に楽しく通うためには？

「うちの子、喜んで園に通ってくれるかしら」

確かに入園後の数日間は、初めて経験する園生活に戸惑う子どももいます。

でも、1週間も経てば、戸惑いよりも楽しさが勝るようになり、ほとんどの子どもが、喜んで園に行くようになるので心配はいりません。

まれに、ひと月経っても登園を嫌がるような子どももいますが、その原因のほとんどは「お母さんと別れるのがイヤ」だからです。

でもそんな子どもも園に行ってみれば、登園を渋ったことなどすっかり忘れ、元気に過ごしている場合がほとんどで、「私と別れる時のあの涙は何だったの？」とがっかりするお母さんもいるほど。

子どもは大人が思っている以上に新しい環境に慣れるのが早く、また、園も子どもたちが早く園に慣れ、楽しく過ごしてもらう工夫をたくさんしています。

特に保育園では、「慣らし保育」と言って、例えば初日は2時間、次の日は3時間……と預かる時間を少しずつ伸ばし、子どもが無理なく園生活に慣れるようにしています。

その期間は子どもの様子や保護者の事情に合わせて、早くて2～3日、遅くても1週間から10日で、希望する時間預かってもらえるようになります。

「お友達と仲良く遊べるか心配」

入園前に多くのお母さんが心配するのは、「友達と仲良く遊べるか」ということ。実際、入園後にわが子がぼつんと一人で遊んでいたりと、不安になるかもしれません。

3歳未満の子どもにひとり遊びが多いのはよく知られていますが、実は年少クラスの3歳児もまだまだひとり遊びが多い年齢です。

3歳児が砂場で大勢が仲良く遊んでいるように見えても、よく見るとひとり遊びの子どもが大勢いるだけ、ということもあります。

そもそも「誰とも仲良く遊ぶ」なんてことは、大人でも難しいもの。

園に入ったあとは、まずは「特定の誰か一人と遊べる」ができれば十分です。

「友達と遊ぶ」とよく言われますが、どんな輪も最初は二人の輪から始まります。

徐々にその輪が広がればいいのです。

人見知りをする傾向のあるお子さんは入園後はまずその「一人」を見つめるようにすればいいと思います。園ではかけこやお絵かきなど、みんなで遊ぶ集団遊びの時間があります。先生は、子どもがその遊びに楽しく参加できているかをチェックポイントのひとつにしています。わが子ができているかどうかを、こっそり聞いてみるのもいいかもしれません。

「オムツ（紙パンツ）が取れず、入園までに間に合いそうにない」

入園時点では、3歳未満の子どもはもちろん、3歳児（年長クラス）でも2～3割の子どもが紙パンツをはいています。

3歳児は、排せつや衣服の着脱などでまだまだ月齢の差が激しいことを園もわかっているので、心配は無用です。

ただ3歳未満児と違って、先生は多いときは20人の子どもの一人で見ています。

園で動いていたら私から言わせていただければ、「着替えと排せつはまだ一人でできなくていいが、できていればとても助かる」が本音です。

完全にはできなくてもいいので、今から一人で着られるものを少しでも多くし、トイレに座る経験をしておくと、子どもの自立や自信にもつながり、園も大いに助かります。

園では紙パンツをはいている子どもにもこまめにトイレを促してくれます。

入園時には取れていなかった子どもも、薄着のシーズンになるころにはほとんどの子どもが取れるようになります。今は取れていなくても大丈夫ですよ。

「入園までにやっつけたいことは」

最後に、「園に行くまでにやっつけたいこと」をご紹介します。

それは、「そんなことでは幼稚園（保育園）に行けない」「それでは先生に怒られるよ」と言った脅しの言葉かけを控えることです。

子どもにマイナスのイメージを植え付けてしまい、行く前から園を嫌がっています。

今は「園にはたくさんのおもちゃがあるよ」「いろんなダンスを踊れるよ」など、「その日」が楽しみになるようなお話をたくさんしてほしいと思います。

<ベネッセ教育情報より>

絵本の紹介



野原をかけた「ふう」と「はな」が出会ったのは、きいろい、きれいな花。「こんにちは。わたしのなまえははなよ。あなたのなまえはな？」話しかけると、「たんぼぼ」と、声がありました。ふたりの前にあらわれたのは、テントウムシ。たんぼぼのまわりに、ほかの虫も集まってきます。「あまみつがすきな”シジミチョウ」。「きいろいふんがすきな”ミツバチ。そしてふたりは、「花は種をまかせ、新しい命をうも”風は種をとばし、いのちを運ぶ」ことを知ります。そう、ふたりの名前には、そんな意味がこめられているのです。



はるって、どんなもの？

パッパ、ビビ、プー、ペーペー、ポッポは、エリちゃんのカーディガンに仲良く並んで付いているボタンの兄弟です。五人は冬中、エリちゃんを寒さから守っているのです。ある日のこと、エリちゃんが「春はもうすぐ」と言っているのを聞いた五人は考えます。

「春ってどんなものかな？」暖かくなるとタンシにしまわれるカーディガンについている五人は、春を知らないのです。そんな時のこと、エリちゃんのお母さんが出かけて、何日も帰らない日が続きました。おばあちゃんと留守番をするエリちゃんが寒くないように、五人はいつもに増して、いっしょけんめいエリちゃんを守ろうとします。そして、やっとお母さんが帰ってきました。お母さんがやさしくだっこしていたのは・・・

続けよう！コロナ感染症対策！

- (1) 一人ひとりが手洗い・咳エチケットを心がける。
- (2) クラスター（集団感染）予防のため、1.喚起の悪い密閉空間、2.多数の人が集まる密集場所、3.至近距離での食事や会話を伴う密接場面、の「3つの密が重なる場」を避ける。